

婦人水平社

設立 100 年



記念講演

～部落・女・家父長制～

複合差別解消を

目指した女性たち

その軌跡をたどって』

講師：鈴木裕子さん

『婦人水平運動史 水平線の女たち』
(ドメス社刊) 著者

◎日時：2023年5月5日(金・祝)
13:30～16:30 (開場13:15)

◎会場：青猫書房 (北区赤羽2丁目28-8
TimberHouse 1F JR赤羽駅東口から徒歩10分)

◎参加費：ご予約1500円 当日1800円

◎お問合せ：050-3594-2951 (留守電対応)
whats.everything@gmail.com

★お申し込み：こくちーずプロ→

主催：what's



what's



[https://onl.sc/CW
hxcSM](https://onl.sc/CWhxcSM)

2023年は、全国婦人水平社設立から100年目にあたります。参政権もなく、社会保障制度など皆無の中で、硬い岩盤をもりもりと内側から打ち破るように、何重にも重なる厚い差別の壁に挑戦した女性たちがいました。その軌跡、彼女たちの活動、その声は、未だ解消できていない私たちに、差別の本質について語りかけます。

今回の講座では、婦人水平運動史を研究され、「水平線をめぐる女たち」を書かれた鈴木裕子さんにお話しいただきます。2月の金子文子に続く青猫書房お話し会第二弾！ぜひ、ご参加ください。



福岡県婦人水平社の女性たち

部落出身の女性が大部分を占める製綿所工場では、他の工場に比べて半額近い極端な低賃金・13時間以上にわたる長時間労働が慣行されていました。

1925年、この劣悪な労働状況を福岡婦人水平社の女性たちが中心となり、労働争議を起こして経営者に働きかけ、改善させました。

(『水平新聞』第3号 1924年8月20日発行) より抜粋

…それは申すまでもなく、一 部落民であるが故に（男性よりも遥かに侮蔑を受けています）、二 生活の自由がない故に（殊に部落民は職業の自由を奪われている為に、たいていプロレタリアで経済上に搾取されています）、三 女性であるが故に（これは部落婦人に限らず一般社会的に男子より奴隷的扱いを受けています）苦しめられている事です。しかしながらこれらは、人の力でどうする事も出来ない自然の約束ではなく、人間が人間を支配する為に勝手にこしらえた道徳や、長い間の間違った因襲なのです。…

* ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ * ~ *

【講師プロフィール】鈴木裕子(すずきゆうこ)



1949年東京生まれ。早稲田大学大学院文学研究科修士課程修了。静岡大学法経短期大学講師をはじめ、明治大学、国士舘大学、東京経済大学、東京学芸大学の各講師。早稲田大学文学部、田大学ジェンダー研究所招聘研究員。日本軍「慰安婦」問題、部落解放女性運動、『山川菊栄集』全10巻別巻1巻(岩波書店、1981-82年)、『新装増補 山川菊栄集』全8巻別巻1巻(岩波書店、2011-12年)、『山川菊栄評論集』(岩波文庫、1990年)、山川菊栄『女二代の記』(岩波文庫、2014年)校定・注・解説。『天皇家の女たち』(社会評論社、2019年)等多数。

青猫書房：https://aoneko-shobou.jp/
TEL 03-3901-4080 JR 赤羽駅東口から徒歩 10 分



柔軟剤・香水などの香りの強いものを身につけずにご参加ください。携帯・スマホ等のお持ち込みをお控えいただけますようお願い致します。

無香料 ケータイ禁止 スマホ禁止 タブレットも

講演中は電源 OFF!

電磁波や化学物質に敏感な方への配慮です。どうぞご協力をお願い致します。